

特別支援

全校

特別活動 学校間交流

岡山県健康の森学園支援学校  
青山茂行

●協働学習 ■児童生徒発表型

実践タイトル 明新小学校と交流しよう

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

デジタルテレビ・PC・Webカメラ

・相手校の教室の雰囲気も感じることができる。

動画(インターネットテレビ会議システム・スカイプ)

・Webカメラ、マイク、ソフトウェアなど、安価に導入でき、交流相手校でも用意しやすい。

参考にしてほしいポイント

・特別支援学校と一般小学校との学校間交流では、交通費や日程の関係で回数が制限され、交流を深めることが難しい。補助的な交流として、インターネットテレビ会議システムを使い、教室をつないで、事前学習や事後学習を行うことにより、実際に出会っての交流もスムーズになり、深めることができる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入	0 〈本時は、事前学習〉 活動の流れを知る。 テレビ会議交流会の準備をする。 ・自己紹介の練習 ・発表する順番を決める 15 ・立つ場所、声の大きさの確認	
展開	15 テレビ会議交流会。 ・あいさつ ・画面を見ながら説明を聞く ・自己紹介をする ・自己紹介を聞く 35 ・質問をする	・【本校】 デジタルテレビ、PC、インターネットテレビ会議システム ・【明新小】 PC、プロジェクター、インターネットテレビ会議システム、マグネットスクリーン(写真1～3)
まとめ	35 振り返り。 ・感想発表 45 ・次回の予定を聞く	



写真1: 事前学習としてテレビ会議をし、お互いに自己紹介



写真2: 交流会当日、一緒に山歩きを楽しんだ。初めての交流会だったがスムーズに打ち解けることができた



写真3: 事後学習として、交流会の感想を発表したり、お互いに質問をし合う

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・事前学習では、自己紹介をお互いに行い、交流会に向けた出会いの場となった。機器への興味もあり、緊張気味にマイクに向かって話しかけていた。
- ・実際に出会っての交流会では、初対面ではなかったため、スムーズに打ち解け、一緒に山歩きを楽しむことができた。
- ・事後学習のテレビ会議では、お互いを名前前で呼び合うなど、実際の出会いの経験からの繋がりを感じた。

活用効果

評価の観点	・関心・意欲・態度・技能	具体的変容	・事前に練習した自己紹介を画面の向こう側を意識して、発表することができた。 ・交流相手の発表を最後まで、見続けることができた。 ・お互いに質疑を交す経験ができ、コミュニケーション能力を高めることができた。
-------	--------------	-------	--

実践の手応え

・移動しての交流会に比べて、手軽に時間的な制約も少なく実施することができる。交流会の補助的な交流として実施すると大きな効果が得られると考えられる。